

あ
お
ひ
ろ
く
し
お
し
ら
さ
ー



イラスト 内藤礼子さん

市報
と お が ま ち

1 / 10
 January

編集発行 / 十日町市役所 (電話代7-3111) 毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可 (1部6円)

□279号□

「参加の発想」を持つて

市民のみなさま、あけましておめでとうございませう。一九八〇年、新しい時代の幕あけてます。私が、私たちを取り巻く現実を見ますと、エネルギー、食糧、米ソ関係など決して予断は許されず、政局は不安定であり、財政危機は地方自治体にも深刻な衝撃をあたえています。加えてインフレは加速し、老齢化社会は年を追って顕著になってきます。いずれを見ても課題と難問は山積していますが、私たちがこの事態をただ座して黙視しているのではなく、衆智を集め



市長 高橋 正弘

産業とは、原則的にはきもの産業です。そして注目すべきことには、きもの産業がもたらした技能や技術や文化的資質が別の側面でも、新しい産業構造の場り起しや産業計画の樹立まで広がる可能性を示唆しているという事です。デザイン、刺繍加工、食品加工、精密機械など、何が決定的なものかは軽々しく論じられませんが、当市の特色を勘案して、今までの物を中心とした産業から、技術や文化を売るといふ、新しい産業構造の計画と、その実践の検討を始め

市民のみなさま、あけましておめでとうございませう。一九八〇年の新春を迎え、市議会を代表して、心から年賀の祝詞を申しあげます。七十年代をふり返ってみますと、前半の日本経済は未曾有の高度成長を続け、当市の産業経済も、市民所得も大きく伸びたことはまだ記憶に新しいところです。しかしながら後半にいたり、ドルショック、オイルショックを続けざまに受け、その痛手により日本経済はもとより全

新年の「ごあいさつ」

定住への第一歩を

世界の高度成長はストップし、低成長時代となってきました。昨年は選挙の年でした。市民



市長 青木 正義

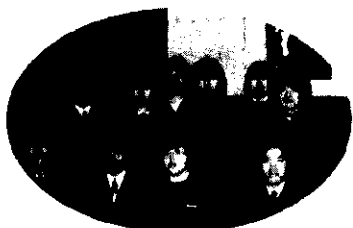
の新しい期待と希望は、国会、県会、市長といずれも若い代表を選ぶ結果となり、政治、行政に望む新しい動向と時代の移り

かわりが感じられた年でした。十日町市政も、市民の期待に応えるべく、新しい展望にたった長期構想ができあがり、構想に基づく基本計画にそって五十五年度から第一歩を踏みだそうとしていることは、ご同慶にたえません。しかしながら、立派な

る時期にきていると判断します。つぎが田園です。田園は緑と水のイメージです。どんなに開発が進み、生活様式が変わっても、水稲に代表される実り豊かな農業と繁茂した森林資源は、この地方の持つ宝です。減反転作問題、後継者問題など、極めて難しい事態の中にありますが、食糧政策は将来必ず違った局面を見せるでしょう。食糧制度も適地適作をベースにしたものに変ぼうし、うまい魚沼米は売れて行くはずですよ。そして、もう一つは文化です。これからの都市づくりは、人間がいかにか生きるかを考える空間、生きていくことに感動する

空間、心と体をやすらげる空間など、「地域文化」で構築されるべきです。画一化されたまちづくりではなく、まちが選んだ性格によりまちづくりをするべきです。まちづくりの基盤は、そのまちの産業構造の計画と個々の文化にあると思うのです。「産業田園文化都市」の完成を目ざして……八十年代の目ぼりの目標は、はっきり定まらなければなりません。そして、目標を実現するために最も必要なことは「参加の発想」です。「みんなが仲間、みんなで参加」を原則的な手法として、一九八〇年を新しい出発の年にしたいと念じています。

今年もがんばります——広報協力員



マンガ・十高漫研クラブ



写真・樋口 俊二



写真・庭野 泰明



イラスト・鈴木 蘭



多彩に白い愛の祭典

—三十一回十日町雪まつり

第三十一回十日町雪まつりは二月九日、十日の両日盛大に開催されます。暖冬の中でも雪まつりの準備は着々と進み、今日、十日には、商工福祉会館内に雪まつり事務局も開設されました。メインイベントの雪上カーニバルの舞台は、清水寺本堂と決まり、きものショー、歌謡ショー、雪上花火と豪華絢爛に練りひろげられます。また、五つのひろばも内容を一層充実し、楽しめるものになります。多彩な三十一回雪まつりの概要をお知らせします。

雪上カーニバル

雪まぶりのメインイベント雪上カーニバルは、二月九日(土)夜、六時頃から城ヶ丘の特設舞台で行われます。今年の舞台は関口修さん(角屋)のデザインした「清水寺本堂」です。カーニバルは、タイムツ滑降で幕開けされ、小、中学生のコース、地元モデル二十名による



雪まつりポスター

るきものショー、石野真子、川崎麻世、ザ・リリーズ、園まりなどが出演する歌謡ショー、紋紙焼納、雪上花火などが豪華絢爛に練りひろげられます。なお、この模様は、二月十一日、正午一時までのアフターストーンショウの中で全国に紹介されます。

ひろば

雪まつりを盛りあげるもう一つ



つもの楽しい広場です。今年には「雪とくらしと文化を考える」をテーマに五つの広場をめぐる島めぐりを計画しています。五つの広場は、ふるさと広場(十日町小グラウンド)、コミュニティ広場(十日町高校グラウンド)くらしの広場(織物組合加工部跡地)、愛とロマンの広場(立正佼成会十日町教会用地)、わんぱく広場(四宮公園)です。それぞれの広場では、明るく楽しい雪まつりにしようというアイデアを出しあい準備を進めています。町内や団体、家族ぐるみで雪の芸術作品を製作して、一緒に広場づくりに参加してくれる人を求めています。市民参加の手づくりのまつりにご協力ください。

きものショー 地元モデル募集

雪上カーニバルを担当する織協青年部会(滝沢俊明部長)では、きものショー出演モデルを募集しています。自選、他選をとわず多数応募してください。募集人員 二十人

応募資格 ①未婚の人、②市内または近郊に住み、夜のリハールに出席可能な人、③きもの姿の以合う人

応募方法 ①住所、氏名、②生年月日、③身長、体重、④勤務先、⑤連絡先及び電話番号、⑥全身写真、を記入同封 応募〆切 一月十五日(当日消印有効)

応募先 十日町織物工業協同組合(西寺町、☎七一九二二番)

雪の芸術展 参加作品募集

雪国の雪の中で、雪を敵にま

雪上舞台は 「清水寺本堂」

今年の雪上舞台は、「清水寺本堂」です。デザインは関口修さんの手によるもので、プラスチック粘土の本物さながらの模型も完成しています。計画によると客席から屋根までの高さが17m、全幅35m、ステージのツキ出しからの奥行き32mという大がかりなものです。1月22日から延600人を動員し製作されます。

わざずに、雪を友だちにしようというのが雪まつり発生の原点です。雪まつり委員会では、市民の一人一人から雪に親しんでいただくため、雪の芸術展参加作品を募集しています。

出品 芸術作品の出品区分は、①一般作品、②特別作品、③学童作品の三部門です。審査対象は一般作品のみです。

審査 雪まつり委員会が委嘱した審査員が、①着想、②技術、③努力、④保存の四点から審査します。

表彰 市長賞、商工会議所会頭賞、織協理事賞、など多数申込み 一月十七日までに、十日町商工福祉会館内、雪まつり事務局(☎七一九二二番)へ。

雪まつり写真集

「白い愛の祭典」増刷

第三十回を記念して出版された写真集「白い愛の祭典」が増刷されます。一冊二千円です。ご希望のかたは事務局へ。



雪まつり会場(カーニバル会場・各ひろばなど)で物品の販売を計画している人は、一月十五日までに事務局へ届け出てください。

<ul style="list-style-type: none"> ◎都市小中学校版画デザイン展(十日町) ◎撮影会(ひろば) ※ミスマックス、ミスマックスワールド ◎サファリパーク動物ショー(ひろば) ◎テレビ、テレビ人気者ショー(ひろば) ◎たばこ吸いおきて大会(ひろば) ◎雪上自転車モトクロス大会(ひろば) ◎きもの鑑賞展(会館) 	<h3>雪まつり行事予定</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ◎民間の自立大会(ひろば) ◎新年度 重八郎 東京大会(十日町) ◎新年度 重八郎 東京大会(十日町) ◎雪の民具展(博物館) ◎雪の民具展(博物館) ◎雪の民具展(博物館)
---	-------------------	--

新春座談会

八十年代の市づくり村づくりは

一九八〇年代の幕明けです。八十年代は地方の時代だと言われています。地方の時代の実現は、そこに住む人達がどれだけ自分の地域を良くしようと考え実践するにかかっていると云えます。そこで、すでに地域づくりの実践活動をしているリーダーの皆さんから、自分達の話を話していただきます。

司会 今日、それぞれの地区で独特の地域づくりをしているリーダーの皆さんが集まっていた。皆さんから、その活動状況を紹介してもらい、これからの地域づくりや市づくりの方向を考えてみたい。

三年前から
手づくりの村づくり



水落 留吉



水落 之夫

水落留吉(宇田ヶ沢)中条山地は過疎が進み、宇田ヶ沢もが離村した。その最大の原因は冬働きに行くことだ。田も畑もあれてしまっている。その土地を利用して、過疎の歯止めと村の連

帯意識を育てるため、十二戸全員参加の農産組合を作り、自然を活かした山ウド栽培をはじめた。山ウドは順調に生育しており来春には収穫出来ると思う。

山ウドを 共同栽培

水落留吉(宇田ヶ沢)中条山地は過疎が進み、宇田ヶ沢もが離村した。その最大の原因は冬働きに行くことだ。田も畑もあれてしまっている。その土地を利用して、過疎の歯止めと村の連

帯意識を育てるため、十二戸全員参加の農産組合を作り、自然を活かした山ウド栽培をはじめた。山ウドは順調に生育しており来春には収穫出来ると思う。

プロジェクトを作り 振興プロジェクトを策定

水落之夫(瀧野)三年前から普及所の指導でやっている。最初推進委員会を作ったが、何から手をつけたら良いかわからず、まずアンケートをとった。二年目には、その中の問題点を整理しやれるものから手をつけた。今年には二百万の補助金もついたので、今までは振興会が道路を中心にこりあげてきたが、今はいろいろな角度からも考え直そうという気運が生まれてきている。本

帯意識を育てるため、十二戸全員参加の農産組合を作り、自然を活かした山ウド栽培をはじめた。山ウドは順調に生育しており来春には収穫出来ると思う。

座談会出席者

- ◎水落之夫(瀧野)
 - 東下組生活環境整備組合長-
 - 東下組地区7集落の手づくりの村づくり運動を推進
- ◎水落留吉(宇田ヶ沢)
 - 宇田ヶ沢農産組合長-
 - 過疎の歯止めと、村の連帯意識を育てるため山ウドを共同栽培
- ◎小川静夫(浅之平)
 - 関浅自治会青年部長-
 - 地区内にプロジェクトを作り機関誌を発行し、地域づくりを推進
- ◎俵山進三(ニツ屋)
 - 六箇地区推進協議会長-
 - 地域が一九九となって森林公園計画に取り組んでいる
- ◎林正(小泉)
 - 吉田地区集団栽培組合-
 - 早くから米の集団栽培を手がけ農業先進地の吉田地区の振興を推進
- ◎福島隆一(珠川)
 - 珠川青年会長-
 - 出稼のない農業をめざしシイタケ、養蚕、タバコなどに取組む
- ◎市長 諸里 正典
- ◎司会 本田欣二郎(企画財政課長)

森林公園計画の 推進に没頭

俵山(ニツ屋)森林公園の推進運動に携わっているのは二十八歳を先頭にした青年達だ。昨年、市で総合計画をたてるというので六箇でも何をすべきか考えた。市の面積の半分以上は山林だ。南魚の郡境にはスカイラインが通っている。温泉もある。土地は大部分が市有地と共有地だ。そこに目をつけた。今もスカイラインは土、日にははやってい



俵山 進三



小川 静夫

基盤整備を中心に 集落の再開発を

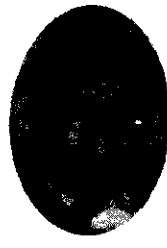
林(小泉)吉田は十年前に第一次構造改善事業を導入し、管理組合を作り協力してやってきた。こういう農業のむつかしい時期には、基盤整備を中心に集落の再開発を真剣に考えてみなくてはならない。十二月に吉田地区の有志が集って会合を開いたが、これからは十分話しあって地区発展の総合的な見直しをしてゆかなければと思う。今の農業をとりまく状況は非常に厳しいが

農業で生きる 基盤の確立を

福島(珠川)珠川では出稼を解消しようとして五十年からシイタケ作りをしている。シイタケは十一人のメンバーでやっており年中出荷できる状態だ。出稼もなくなってきた。珠川には養蚕、アスパラ、シイタケ、タバコ、畜産など農業と真剣に取り組んでいる人が多い。これらのものが順次、軌道にのって

林(小泉)吉田は十年前に第一次構造改善事業を導入し、管理組合を作り協力してやってきた。こういう農業のむつかしい時期には、基盤整備を中心に集落の再開発を真剣に考えてみなくてはならない。十二月に吉田地区の有志が集って会合を開いたが、これからは十分話しあって地区発展の総合的な見直しをしてゆかなければと思う。今の農業をとりまく状況は非常に厳しいが

地域に根ざした 個性的な村づくりを



市長

市長 皆さんの真剣な村づくりの実践を嬉しく思います。

これからの地域づくりの考え方には、「あの村にこの施設があるから、私の村にも同じ施設が欲しい」という考え方と、ここには体育館があるから、ここには図書館が欲しい」という二通りの考えかたがあると思う。私は、ヨソの町にあるものは自分の町になければならぬとい



出席者

左から 水落留吉さん、小川静夫さん、水落之夫さん
諸里市長、林正さん、徳山進三さん、福島隆一さん

う発想より、ヨソの町にあるかウチにはいらぬんだという考え方を大事にしたいと思う。本町の町づくりは、町の規模を考えそこに住む人達の生きがいとどこに見つけ、その町の産業構造をどうするかという計画をたて、生活パターンはどうかというところを考え、それにあった施設は何かということを実行に考えた町づくり村づくりが推進されて行くべきだ。そのために、行政は道路を作るといった社会資本の充実のための公共投資は惜しまない。その村にあった村づくりの方法をどうして見つめるかというところ、それは参加とい

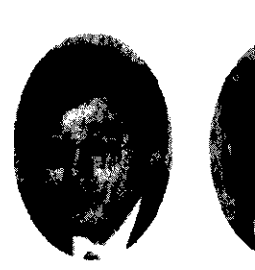
う手法だ。今、皆さんが、若い人が参加をしたら、自分の問題として取りあげた話と話し合っておられた。それが大事だ。そして、それぞれ違う方法でやっている。これが本町の村づくりだと思ふ。

司会 市長からも新しい提案がされているが、皆さんからも市に対する要望や提案を。
福島 シイタケハウス一棟四、五百万かかる。国の資金だけでは足りない。市も援助を。
市長 応援体制はある。市が応援するには珠川なら珠川でまともしてもらわないと。市内の一軒く、個人くにはとても、水落留吉 十二戸全員が参加し

まともして作業を進めて村に活力がはじめています。今年、桑畑で荒れている所にブドウを植えて、年よりから子供までどう狩を楽しめるようにしたいと考えている。それと将来は、一階を集荷場、二階を集会場にしたセンターも欲しい。
小川 私も部落の個性を育てることに賛成だ。他の地区を視察して、考え方の独創的なところを吸収して、私達の部落を魅力あるものにしたと考えている。
林 市の産業構造は、一に織物二に農業だが金額を比較すると天と地の差がある。市民の生活の基盤は農業だ。その農業も平場と山地で半分半分くらいになる。中心部の整備には、都市計画といった制度が活用できるが、

山間地には恩恵がない。行政の力で道路をはじめ社会資本の充実につとめてほしい。
市長 豪雪地にあつては道路は生活の革命だ。特に山間地にあつては道路行政なくして発展はありえない。それと農業に対する援助体制をどうひくかということだ。平場には、国営、県営団体管といった有利な制度があるが、山間地は補助制度も細かい条件も悪い。立地条件の悪いところで頑張っている人にもそこそこの積極的な援助して行かなければと考えている。
水落之夫 私達のところは畜産が主だ。牛の場合育成牧場が必要だが地域内には適地がない。市全体に呼びかけて取り組みたいがその時はよろしく。
市長 その話は広聴会で願入の皆さんからも聞いています。これからの市の農業は複合経営でなければと考えている。そういう

意味で畜産は大きな柱だ。十日町産の牛肉はうまいという評判だし要望があれば取りあげたい。
徳山 森林公園の中に、学校の合宿所や団体の保養所も考えられないか。それと、塩之又に旅館が二軒あるが、そのほかに個人の民宿を経営する人もでてくるのではないか。そうなる道路が一番大事だ。今は狭い所もあるし冬になると通れなくなってしまうている。
市長 これから社会は高齢化に向かうという。高齢化社会に向かうというので、中高年齢層の対策だけを考えがちだ。逆に高齢化社会に向かえば向かうほど若者の負担が大きくなり、果たす役割が大きくなる。たくましい若者を育てるために、若者に向けた効率的な投資が必要になってくる。そういう意味で、森林公園の中に、青少年自然の家とか、生徒や学生の研修センター、合宿所といった施設が必要になってくると思う。
林 先月、エネルギー危機と食糧という講演会を聞いたが、エネルギーの次は必ず食糧問題がでてくる。こういう時期だからこそ踏んばって、重点的に投資をして行かなければならないの



福島 隆一



林 正

ではないだろうか。今の食糧はほとんど石油で出来ていると言っているくらいだ。農業が見直される時期が必ずくるはずだ。
水落留吉 八十年代は、山地を見直したり、自然食品を見直したりする時期がくる。その時代に対応するために、キチツとした見直しをもって努力をして行かないと、次の世代の子供たちに良いものは残せない。
水落之夫 私の所は畜産が主だが、これだけでは全部の地域は救えない。それを何に求めるか模索しているところだ。こういう方向に進んで行こうという方針の出ている皆さんの地区は素晴らしいと思う。

情熱と
団結があれば
徳山 私達の地区は今最高の盛り上がりを見せている。この運動を通して「情熱と団結」があればかなりのことが出来ると知った。「情熱と団結」これが何と言っても一番だ。
林 本町に若い人が一生懸命になつてくれることが一番だ。
司会 長い間ありがとうございます。八十年代は地方の時代だ」という言葉が、かけ声だけで終ることなく、本町に実のあるものにするため、皆さんの個性ある村づくりを着実に進めていっていただきたい。その実現のために行政も社会資本の充実など出来るだけのことはいたい。



本田 課長

本町に若い人が一生懸命になつてくれることが一番だ。
司会 長い間ありがとうございます。八十年代は地方の時代だ」という言葉が、かけ声だけで終ることなく、本町に実のあるものにするため、皆さんの個性ある村づくりを着実に進めていっていただきたい。その実現のために行政も社会資本の充実など出来るだけのことはいたい。

博物館 冬期特別展

雪の民具展

2月7日(木)～2月29日(金)



博物館では、これらの民具を

博物館では、二月七日から二十九日まで特別展示室において冬期特別展「雪の民具展」を開催します。

私たちは冬になると、雪との闘いを強いられます。それは今も昔も変わりありません。こうした環境の中から、この地方の人々はさまざまな民具を作り出し、使ってきました。ですから一つ一つの民具からは、冬の厳しい生活と、長い間はくまれてきた生活の知恵をうかがうことができます。



一堂に集めて展示し、長い雪との闘いを民具を通して考えてもらうことにしました。また二月九日(土)・十日(日)の午

会場 十日町市博物館 2階 特別展示室
時間 午前9時～午後4時半
入場料 無料
*2月9日(土)・10日(日)にはワラ細工等の実演を行います。
*月曜・祝日は休館日です。
お問い合わせは ☎7-5531番

まつりには、ワラ細工等の実演も行います。
*近所おさそい合わせの上、ぜひご来館ください。

おの時はなにか シリーズ No.10 旬街座の崩壊 昭和13年1月1日

今から四十二年前の、昭和十三年一月元日夜七時三十分頃、旬街座で映画を上映中、突然積雪の重みで屋根が陥没して、死者六十九名、負傷者九十二名を出すという大惨事が発生した。当時の新聞報道等をもとに、この悲惨な雪災のあらましを追ってみたい。

旬街座というのは、本町五丁目、現在の十日町娯楽会館のところにあって、劇場と映画館を兼ねていた。木造一部二階建、間口九間、奥行十六間で百六十四坪。明治三十五年の建築で、だいぶ老朽化していたが、当時としては珍しい大加藍であった。日支事変が勃発した昭和十二年の暮れは雪が早かった。十二月二日から根雪になり、年末には積雪二百三十五センチを記録するほどの大雪になった。

正月休み、映画館は暗れ着て着飾った人々にぎわった。定員四百九十一名のところへ七百人も入場し、満員札止めの盛況だった。事故後測定したところによると、屋根の積雪は二、三メートル、重さは坪当たり二、三近い荷重がかかっていた。しかも、屋根のまわりだけ除雪したので、中央西側の屋根約四十坪が、重い雪と共に一大音響をあげて崩壊した。ちょうどそこが中央の特等席と一等席だった。正月休みの芸妓や女子工員、

おほ屋根が落下 死者六十七名を出す 旬街座の大惨事 新聞 十日町 状況 一家六人のうち、留守番をしていた主人を残して、五人全員死亡という気の毒な家庭もあって、全町悲しみにつつまれた。この大雪災は、雪国の人々に雪の恐ろしさを再認識させる警鐘となり、雪に対する関心がにわかには高まった。

雪地獄、父祖の地なれば、棲み継げり」の名吟は、犠牲者の霊を慰めるために劇場のかたわらに建てられた「深雪観音堂」の献額に奉納された阿部子之氏の作品である。(佐野良吉)



深雪観音堂

婦人学級で頭の洗濯

水落ヨシ子(下桑中央通り)37歳
 公民館の婦人学級で勉強するようになってから三年になりました。月一度ではありませんが、たぐさんの先生がたの話の聞き、そして多勢の仲間と出合い、私にとって、婦人学級は充実した一時間半です。

先生がたの話の聞いて、自分なりに疑問を感じたり、共感したり、話し合いをして意見を出し合うことは、家庭の中にもりかちな私達にとつて、まさに頭の洗濯だと思えます。これからも長く続けて行きたいと思っています。

仲間づくり

吉田晴美(錦町一)21歳
 川治公民館のレクリエーション講座に参加しています。この講座は、活花や料理のように、具体的な形がないので、初めの頃はただ遊びに通っているよう



なものでした。でもそんな活動の中で、小教ではあるけれども知らない人と知り合えたことが収穫でした。

レクの学習は始まったばかりです。より多くの人達と仲間になって、楽しくレクを勉強したいと思えます。木曜日の夜おひまなかつた、一度川治公民館に遊びに来てみませんか。

「遊び虫シリーズ」について

竹内志津子(川治小六年)

私は公民館の「遊び虫シリーズ」

私と公民館



ズ」という会に参加しました。そこでやったことは、ゲームと踊りと焼き物、それから工作でした。焼き物は初めてだったので、とても楽しかったけどたいへんでした。苦労したおかげで、とてもかわいい鈴ができました。工作は、わりばしでっぽうを作りました。踊りは、「宇宙戦艦ヤマト」と「僕の先生はファイバ」を踊りました。

青年研修会に参加して

會根一真(池谷)27歳

研修会には、年齢層、仕事な



どが異なる人達が集まりましたが、地域に関する考え、若者としてどうしていったら良いかなど、かなり活発な意見がだされ、感動する点もかなりありました。

春秋を通じた研修会を、準備段階から振り返ってみると、初めての研修会としては成功であったと思いましたが、女性の参加が少なく、この点はこれから課題として考えて行かなければなりません。

飛渡地区に住む若者が減り、部落単位ではなにもできないような現在、地域でまことまことに、より、かなりの事ができると思いました。この研修会が、これからも地域の集い、話し合いの場として大きく育ってほしいものです。そして、若者が部落や地域の行事などに積極的に参加して、活気のある住みよい郷土をつくっていくようではありせんか。

十日町高校定時制生徒募集

- ◎募集人員 普通科第一学年四十名
- ◎願書受付 二月一日(金)〜七日(木)まで
- ◎出願手続き 入学願書、調査書を出身中学校を経由して本校へ提出してください。
- ◎試験日 三月十七日(月)
- ◎修業年限 四カ年
- ◎その他 ①勤務その他の事情で昼間登校できないかたのため、一般教養を高めるとともに上級学校に進学するための教育課程が組まれています。②入学後には、年間所得が百九十九万円未満の人に、国が卒業までの四年間毎月六千円の修学奨励金を支給します。この奨励金は卒業すれば返還する必要がないことになっています。③遠隔地からのバス通学が可能です。

55年度市奨学生を募集

市教育委員会では、昭和五十五年度の十日町市奨学生をつぎのとおり募集します。

応募資格 昭和五十五年度に高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に進学予定または在学中の人でつぎに該当する人

(1)本市に三年以上居住する世帯の子弟 (2)学業成績が優秀と認められる人 (3)経済的な理由により学費の支弁が困難な人 (4)身心共に健全な人

奨学金の種類(月額) 短大、大学(一



昭和55年度十日町市成人式のお知らせ

- ◎日時 5月11日(日) 午前10時〜12時
- ◎会場 十日町市市民体育館
- ◎該当者 昭和34年4月2日〜35年4月1日生まれの当市在住者

※詳細は後日、本人宛にご連絡いたします

新潟県の最低賃金

新潟県内で働くすべての労働者に適用する各種最低賃金が、つぎのとおり改正されました。

使用者は、最低賃金の適用を受ける労働者に、その最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。

- 新潟県最低賃金 一日二千五百四十二円、時間三百十九円
- 卸売業・小売業 一日二千七百二十円、時間三百四十円
- 食料品製造業 一日二千七百九十二円、時間三百四十九円
- 出版・印刷・同関連産業 一日二千九百五十二円、時間三百六十九円
- 木材・木製品・家具・装飾品製造業 一日二千九百三十三円、時間三百六十七円

万円)

賞与期間 昭和五十五年四月から、その人の在学する学校の最短修業年限の終期まで

採用予定者数 高校、高専(十二名) 短大、大学(八名)

出願書類 奨学金貸与願書、在学学校長准せん書(成績証明書添付) 戸籍簿本及び住民票謄本、医師の身体検査書、前年度所得証明書

書類の提出先 二月二十日までに行教育委員会(番七三二二番内線二七三)へ。

その他 三月上旬頃に奨学生を決定し、決定次第各人に通知します。



暴力団の民事事件 相談窓口開設

市民のみなさんの中で、暴力団による借金取立て、交通事故の示談交渉等におとされた

農林業センサスにご協力を

～商工課～

一九八〇年世界農林業センサスが二月一日現在で実施されます。今回のセンサスは国連の提唱による世界農林業センサスの一環として、農業事業体のほか林業事業体についても調査が行われる大規模調査です。

この調査結果は、今後農林行政等に幅広く活用され、また各地域の特徴をつかむ貴重な基礎資料となります。

一月下旬から二月月上旬にかけて、担当の調査員が皆様のお宅に伺いますので、センサスの趣旨を理解していただき、調査にご協力ください。

大鏡84枚を寄贈

十日町ライオンズクラブ(関口順一郎会長)では、10月に主催した国際児童協賛「世界のサーカス」チャリティ公演の収益(約150万円)で、市内の小・中学校、幼稚園、保育所に合計84枚の大鏡を贈呈。12月21日市役所を訪ずれ諸里市長に目録を手渡しました。

造林補助申請 期限は四月十日

昨年(一九七九年)から十日町市内は、森林総合整備地域となり、農用地区域以外の山林で、十アール以上の植林・下刈・除伐・雪起を実施した場合、造林の補助該当になることがあります。また一地域数人で五十アール以上くらの作業を、森林組合に委託する

り、むりに契約書を書かされたりして困っているかたは、いませなか。暴力団が民事事件に介入した犯罪が多くなってきたため、県警と十日町署ではつぎのよう

に相談窓口を作りました。

直接暴力団におどかされているかた、取りたてにあつたかたや親戚、知人でのこのようなことに遭遇している人を知っているかたはお気軽にご相談ください。

◎相談窓口

●十日町警察署(☎二一三二七)

●十日町警察第二課暴力関係(☎二五二一、四一四二、四番)

寄付 ありがとう

- 歳末たすけあい
- ▶ 庭野日敏 500,000円 ▶ 小林ツル(昭和町1) 5,054円 ▶ 村山ハル(大黒沢) 2,500円 ▶ 直洋院(四日町2) 34,819円 ▶ 高橋住三(本町東1) 3,520円 ▶ 八千代老人クラブ 20,000円 ▶ 常角熊吉(魚之田川) 5,000円 ▶ 十日町砂利合資会社事務所一同 7,672円 ▶ 匿名2件 15,104円 ▶ 本山フジ(袋町中) 3,040円 ▶ 十日町美術協会 108,461円 ▶ フランクお客一同(寿町) 14,677円 ▶ 十日町病院職員一同 24,781円 ▶ 宮沢麻生(田中町本) 5,000円 ▶ 十日町ライオンズクラブ 40,796円 ▶ 三洋自動車(従業員一同) 9,790円 ▶ 庭野みよの(昭和町2) 2,000円 ▶ 関新川屋もち20パック入13ケース ▶ 桑原正治(新座) 十日町・中条・津南の各病院に歳末慰問品 ▶ 上新田簡易保険組合 5,000円(老人ホームへ) ▶ 福岡みよし(千歳町)衣類
- 社会福祉事業へ
- ▶ 川治地区婦人会 35,910円 ▶ 匿名 6,000円 ▶ 徳井甲子(本町6-2) 30,000円 ▶ 十日町相撲協会 9,351円 ▶ 佐藤実(昭和町1) 4,606円 ▶ 肉藤直義(控本) 1,000円 ▶ 阿部正平(四日町新田3) 3,000円 ▶ 山田親貞(美雪町) 20,000円 ▶ 香典返し ▶ 庭野多一(新座4) 20,000円
- カンボジア難民救済金
- 匿名1件 5,000円
- 公民館へ
- ▶ 魚沼酒造(株) 椅子カバー 600枚 ▶ 十日町地区婦人会 座布団カバー、湯呑茶碗 ▶ 田中新開店 灰皿50個
- また小海真二郎さん(高田)から、故小海隆三郎氏(元教育委員長)の遺志により学校図書購入のため100,000円が寄付されました。



恩給が増額されます

恩給法の一部が改正され、つぎのように変わりました。

1、旧軍人恩給を受給しているかたで、加算年の年額計算への算入に係る年齢要件が、今まで六十五歳以上であったものが六十歳以上に引き上げられます。

2、一定の要件に該当する旧海軍の特務士官及び准士官の仮定俸給の改善

①下士官として在職していたことがあるかた

②昭和二十年十一月三十日までの旧軍人としての実在職年数が、普通恩給として所要最短期間(十二年)以上であるかた

3、訓導等として勤務していたかたが代用教員となり、引き続き訓導等になった場合の代用教員期間が恩給の基礎在職年に通算されます。

旧軍人の一時恩給及び一時金

旧軍人としての実在職年が引

き、続いて三年以上の人には一時恩給、断続してあり合計で三年以上の人には一時金がそれぞれ支給されますが、まだ未請求者かたが相当あります。未請求者またはその遺族のかたは、県庁民生部援護課または市社会福祉事務所(☎七三一一)一番内線(二一五)へおたずねください。

遺族年金等の時効変更

遺族年金(援護法)、給手金、弔慰金及び遺族一時金等の該当者で、今まで請求もれで時効となり受給できなかったかたが、特に法令の許す範囲で受付

けることになりました。該当されるかたは、一月末日までに市社会福祉事務所においてください。

停電のお知らせ

▼一月二十二日(火) 午前九時～正午まで 昭和町二丁目、昭和町三丁目、若和町二丁目、若和町三丁目、一、二部、泉町、西寺町の一部、七軒町の一部、高田町二丁目の一部

今年(一九七九年)は六十一年に一回の庚申の年です。市内のいたるところで庚申塔がみられ、この野仏の中にミザル、イワザル、キカザルの三猿が刻みこまれています。物を言わないことが過去の庶民の生活の知恵だったのでしようが、八十年代の市民の知恵は、見、聞き、言い、参加して、自分にあつた政治を創り出して行くことだとも言えます。その橋渡し役として、広報広聴活動に一層力を注いで行くつもりです。